

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

Ｌ千賀、西、池田

2. 山域／ルート

大峰 明星が岳・八経ヶ岳 中尾根（湯ノ又登山口から）

3. 交通手段

車

4. 行動記録 <入山日 2021年12月29日 下山日 2021年12月29日>

12月29日 西宮 4:00→6:30 大塔町篠原（登山装備準備）→

7:30 湯ノ又登山口から入山（明星が岳まで 7.4km・650m）→ 8:20 湯ノ又から
0.9km 道標→9:50 湯ノ又から 4.5km 道標→11:00 湯ノ又から 5.5km 道標→12:05
湯ノ又から 6.0km 道標→14:20 1710m 時間切れ撤退地点 14:55 下山開始→18:00
湯ノ又登山口へ下山→五条（中華料理たんぽぽ）で夕食→帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

時間切れによりトリップ尾根周回をやめ、中尾根 1710M 地点から往路を下山。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

大寒波により阿弥陀南稜は強風と視界不良が予想されたため、関西最高峰の八経ヶ岳へ。日帰りで到達できで面白そうルートを皆で探し、湯ノ又登山口から中尾根・明星ヶ岳・八経ヶ岳・トリップ尾根の周回ルートを発見。ポイントは2か所の急登と上部の倒木処理そして積雪によるラッセルと予想し計画した。予定通り6:00に登山口と思しき箇所に着き入山準備を整えていざ出発！地形図を合わせてっと??地形図と比較して斜度がきつすぎる??

車道が2本あるけど地形図には1本だけ?あれ??向こうの道は川と道が左右逆??NさんはGPSに落としてきたはずの地形図が見えないって言うてる!!よく確認するとだいたい手前の篠原集落の入口だった。

気を取り直し車に乗って移動し、雪の積もった篠原林道をさらに奥へ進み湯ノ又登山口へ。そうそうこんな感じ!写真で見た景色が見えてきた。

予定より1時間遅れの7:30に湯ノ又を出発した。



登り始めからトレースがあり、これなら山頂へ到達できるかと思ったが、そのトレースはわずか 100M 先の木の周りをぐるっと回って下山していた。散歩かこれは？ そこからノントレース。さてどこまでいけるか、ラッセルスタートした。

湯ノ又登山口から 5.5km まで 2 時間半！(明星が岳まで 1.9km) ここまではおおむね順調だったが、一つ目の急登りから時間がかかり始めた。アイゼンを装着して岩峰のとりつきを探して左側のルンゼからアタックするも、いくら何でも急すぎるので違う登り口を探す。

大きく右に巻いた箇所にテープを発見！新雪・草付き・岩にアイゼンを効かせながら気持ちよく登り切った。すでに 12 時を過ぎ登頂があやしくなってきた。時折日が射し、雪をまとった木々がとてもきれい！



き替えた。

斜度はさらに増しピッケル&スノーシューでバランスを取り一歩一歩立ちこみながら登ると、今度は雪をまとった木々に行く手をふさがれる。右側は崖。通れるルートを手分けして探す。所々にテープがありルートは間違っていないようだ！そろそろタイムアップの 13:30 なのだが、この斜度と積雪ではザックを下せない。ここを登り切って折り返すこととして頑張る。

積雪はさらに増し膝上を越えてきた。2つ目の急登(1710M まで)をアイゼンで登りたかったのでスノーシューへ履き替える時間があったが、先に進めなくなってきたので仕方なくスノーシューへ履



青空が覗くなか無事登り切り 1710M へ到達！！



すでに 14:15。ここから下山しても日没後になるだろうがトレースを追って下山できるのでヘッドン下山を覚悟し、遅めのお昼ご飯タイムを楽しむ。

Nさん！周回したいとか無理だからね♪
下山はアイゼンでバックステップスタート。しっかり雪と戯れた八経ヶ岳でした。

報告者 千賀 2021年1月03日